

もって工事完了の予定であり、さらに、浄行寺町から水道町に至る間の幅員の狭いところや、Sカーブのところもこれから整備を要するところである。また子飼橋付近から、市の中心街や川尻町付近は特に交通渋滞の激しいところであるので国道五七号線のバイパスと効用を一にする熊本バイパスの建設が緊要であり、本年度から着手されるようになった。

このバイパスは一つは国道三号線新熊本バイパスの熊本清水町松崎から竜田山の北側を通り陳内を経て保田窪本町に至り、もう一つは国道五七号線の熊本市竜田町弓削から、託麻村の九州縦貫自動車道託麻インターチェンジにおいて高速道と連結し、前記の保田窪本町において、三号線からのバイパスと合流して、帯山を経て、県庁の東側を通過して、市民病院の付近を通り、江津湖の斎藤橋付近を通過し、宇土市に至り国道三号線と国道五七号線の分岐付近で両線に連結する予定となっている。このほか、植木町内の交通混雑を緩和するために植木バイパスの建設も昨年度より開始されている。

### 国道五七号線の整備

本路線は、三号線が縦の動脈的幹線であるのに対し、横の動脈的幹線道路である。起点は大分市で終点は長崎市になっている。別府、大分、阿蘇、天草、雲仙、

長崎を結ぶ産業上、観光上重要な幹線道路である。県内の通過経路は一の宮町―阿蘇町坊中―大津町―熊本市―宇土市―三角町を経て、フェリーボートで島原市に至っている。本路線の整備も建設省の直轄事業となつて、宇土半島の区間や熊本市―大津町―瀬田間、それに阿蘇町赤水―一の宮町宮地間は昭和四十一年度までに第一次の改築工事を終り、立野バイパスも本年度舗装を完了したので、一の宮町宮地から西は全部一次改築が完了するわけだ。宮地から以東、大分県境まで（波野工区と呼称する）の改築工事は昨年度から開始されている。この波野工区には坂梨バイパスを含んでいるが、この波野工区の改築が終ると、本路線の第一次改築は全線完了することになる。また大津町内の交通混雑を緩和するための大津バイパスも昨四十一年度から用地買収に着手し、熊本市内の交通渋滞を緩和するため、国道三号線の交通緩和と効用をもとにする熊本バイパスの建設が前述のように、本年度から着手されることになった。

### 国道二〇八号線の整備

本路線は一般国道であるが元二級国道で元二国と呼ばれているものである。熊本市を起点として植木町までは国道三号線を重用（注、重複して利用することし、

ここから玉名市、荒尾市を経て福岡県の大牟田市を通り、柳川市、大川市を経て佐賀市に経る地方幹線の道路である。本路線の整備は熊本県において実施されてきたが昨年度玉名市八嘉台地区の改良工事を終って、本年度この舗装工事を実施すると全線の一次改築は終了することになる。

### 国道二一八号線の整備

本路線も一般国道で、元二国と呼ばれているものである。熊本市を起点として宇土市を経て松橋町までは国道三号線を重用し、ここから東へ延びて砥用町、矢部町を経て、蘇陽町の馬見原を通り宮崎県、高千穂町を経て延岡市に至る、九州のほぼ中央部を横断する重要な幹線道路である。

松橋町から矢部町間の整備は熊本県で工事を実施中である。緑川の総合開発のため砥用町の花定野に緑川ダムを建設する予定であるからこれに関連して本路線の整備が急務となつてきている。また矢部町の浜町から蘇陽町の間（一部は県施行）は建設省の直轄事業として昨四十一年度から一次改築が施行されることになったが、浜町や馬見原の町内は幅員も狭く、直角曲りの街角があり、交通渋滞の原因ともなつているので、バイパスの建設が望まれている。

### 国道二一九号線の整備

本路線も一般国道で元二国と呼ばれているものである。熊本市を起点として宇土市、松橋町、八代市までは国道三号線を重用し、ここから球磨川に沿って人吉市に至り、多良木町、湯前町を経て宮崎県、西米良村、西都市を経て宮崎市に至る、県南部の重要な横断幹線道路である。

本路線の整備は熊本県において実施しているが、球磨川沿岸の難工事も着々と進捗し、八代―人吉間は局部的な未改良区間もあるが、大体において本年度末には改良を終る予定で、従来の狭い沿岸道路に比較して、見違えるように立派な道路ができつつある。これに舗装ができること、日本三急流の一つである球磨川に沿った快適なドライブウェイができる日も間近のことと思われる。人吉―湯前間も前記と併行して改良工事、舗装工事を実施しているが、完成までにはここ数年かかるものと思われる。

### 国道二二一号線の整備

本路線も一般国道で元二国と呼ばれているものである。人吉市を起点として南へ延び、宮崎県

加久藤町、小林市を経て、都城市に至るもので、人吉市から加久藤町付近までは、九州縦貫自動車道の経路とはほぼ一致する重要な幹線道路である。

本県内の区間はほとんど未改良で、山岳地帯の難所を通過しているが、昨四十一年度から建設省の直轄事業として採択され、一次改築に着手され、県境の加久藤峠には延長一八〇〇メートルのトンネルを築造する準備が進められつつある。

### 国道二六六号線の整備

本路線も一般国道で元二国と呼ばれているものである。起点は牛深市で本渡市を経て松島町、大矢野町を通り、三角町に至り国道五七号線に連結されている国道であるが、本線はそのほとんど全線が離島を縦断している天草島の重要な幹線道路である。全国的にみても、離島にある国道は本線唯一である。

＜整備された国道3号線…熊本市近見町付近＞



天草五橋が昨年九月完成してから、物資の流通や観光上、急激に交通量が増加してきて当時未改良のままであった上島の松島町から本渡市に至る間の交通渋滞は、大変なものになった。そこで県は、特に経済企画庁や建設省、大蔵省の配慮を願って、大々的な改良工事に取り組んだのである。五号橋の松島町から本渡市までの上島地区は、本年度で大体改良工事を終る予定だが、幾分工費が不足するの

以上で一般国道に関する主な事業についてふれてきたが、次に県で整備を進めている県道の内、主要地方道の主なものについて説明してみよう。

### 主要地方道熊本玉名線

本路線は熊本市を起点として、松尾町要江、河内芳野村河内、天水町小天を通り玉名市に至る道路で、熊本と有明新産地域を結び、本県最大のミカンの集団生産地を通る産業振興上重要な地域幹線道路であるので、年々相当額の工費を使つて整備に努力しているが、本年度は河内芳野村や天水町地区の改良工事をこなすとともに、玉名市桃田地区の国鉄鹿鹿島本線との立体交差を行ない、舗装も前記三カ市町村内を実施することになっており、全線の一次改築の早期完成が期待されている。

### 主要地方道高千穂大津線

本路線は宮崎県高千穂町を起点として、阿蘇郡高森町を経て、長陽村立野において国道五七号線に連結し、これから国道五七号線を重用して大津町に至る道路で、高千穂から阿蘇南郷谷を貫通し、九州横断道路と連結している産業、観光上重要な道路である。

年々整備に努めているが、特に長陽村戸下の七曲りは急坂で幅員狭少、カーブも半径小さく最近の大型化した車輛の通行には支障があるので、黒川を一またぎするよう長大橋の架設を計画し、いまその準備をしている。この橋が完成すると、付近の国鉄立野鉄橋や数鹿流滝とともに名勝の一つに加えられ、観光上、あるいは産業振興上大いに役立つものと期待されている。

また本路線は、大津町以西の主要地方道山鹿大津線と同じく大牟田山鹿線、柳川南関線と一連の観光上、産業開発上重要な道路となつていっているので、これらの線を一体として、佐賀高千穂線として国道に昇格するよう関係県から国に対して切実な要望を行なっているが、この実現のためさらに努力して道路の整備も大幅に伸びるようになりたいと思つてい